

③ 中 N R T における弱点分野の問題例

ア 数と式

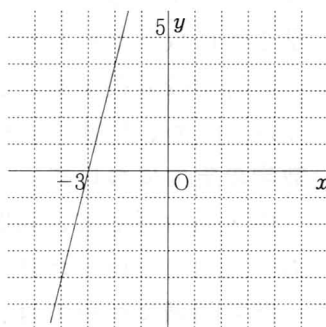
◎ 連立方程式  $\begin{cases} y = 3x + 3 \\ y = x - 5 \end{cases}$  を解きなさい。

イ 数量関係 (関数)

◎ 対応表  $\begin{array}{c|ccc} x & 3 & 8 \\ \hline y & -1 & -6 \end{array}$  を満たす

1 次関数の式を求めなさい。

◎ 右のグラフを表す 1 次関数の式を求めなさい。



◎ 次の対応表の中で 1 次関数の特徴を持つものをすべて選びなさい。

ア  $\begin{array}{c|ccccc} x & -2 & -1 & 0 & 1 & 2 \\ \hline y & 4 & 1 & 0 & 1 & 4 \end{array}$

イ  $\begin{array}{c|ccccc} x & -2 & -1 & 0 & 1 & 2 \\ \hline y & -2 & -1 & 0 & 1 & 2 \end{array}$

ウ  $\begin{array}{c|ccccc} x & 1 & 2 & 3 & 4 & 5 \\ \hline y & 12 & 6 & 4 & 3 & 2 \end{array}$

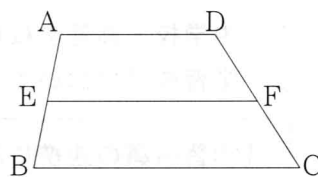
エ  $\begin{array}{c|ccccc} x & -2 & -1 & 0 & 1 & 2 \\ \hline y & 9 & 7 & 5 & 3 & 1 \end{array}$

◎ A さんが家を出発してから 2 分後に駅まで 800m、6 分後に駅まで 500m の地点を通り過ぎた。歩く早さが一定であるとして、次の間に答えなさい。

- (1) A さんの歩く早さは、1 分間に何 m か。
- (2) A さんが家を出発してから  $x$  分後の駅までの距離を  $y$  m とするとき、 $y$  を  $x$  の式で表しなさい。

ウ 図形

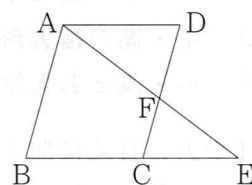
◎  $AD \parallel BC$  で、E、F は AB、DC の中点である。AD = 5 cm、BC = 11 cm であるときの線分 EF の長さを求めなさい。



◎ 四角形 ABCD は平行四辺形で、その面積は  $90 \text{ cm}^2$  である。

BC = 8 cm、CE = 6 cm であるとき、

- (1) DF : FC を求めなさい。
- (2) 台形 ABCF の面積を求めなさい。



◎ 平行四辺形 ABCD が、次の条件を持つと各々どんな四角形になるか。

- (1)  $\angle A = 90^\circ$
- (2)  $AB = BC$
- (3)  $\angle A = 90^\circ$ 、 $AB = BC$